

## アジアB P大会レポート

今回のアジアが初めての国際大会であったものの、別段緊張などはせず、落ち着いて試技に臨むことができた。しかし、結果は優勝こそしたものの第一試技のみ成功と、あまり納得のいくものではなかったというのが率直な感想である。やはり、飛行機での長い移動時間と時差が感覚を狂わせ、自分が思った以上に疲れていたのが原因だろう。私自身としてはあまり疲労感を感じていなかったが、身体はそうではないようで、いざ試技になってシャフトを受けてみると、重さやフォームに違和感を感じたのが印象的だった。だが、この大会を通して得た経験は私の人生の中で素晴らしい経験となった。海外で日本の代表として戦うという特別な体験はそうあるものではなく、不利な状況で試技を行うことの難しさや、他国選手との触れ合いは今後の競技において大きなプラスとなるだろう。

神谷篤季